

防犯対策「立春号」



令和8年2月18日発行
(公社) 滋賀県防犯協会



こども家庭庁などでは、毎年2月から5月にかけて「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を行っています。

青少年が初めて自分のスマートフォン等を手にする時期でもある春の卒業・進学・進級の時期に特に重点を置き、犯罪やトラブルに巻き込まれることを防止し、スマートフォンやSNS等を安全・安心に利用できるように広く呼びかけています。



【ペアレンタルコントロールの必要性】

SNS等のインターネット利用が拡大するにつれて

- ・利用者の急速な低年齢化や長時間利用、高額な課金によるトラブル
- ・誹謗中傷や偽・誤情報の投稿・拡散等を契機とするトラブル
- ・青少年が自撮り等の犯罪被害に遭う事案
- ・「闇バイト」に応募して犯罪に加担してしまう事案
- ・オンラインゲームをきっかけとして犯罪に巻き込まれる事案

- ・生成AIを悪用して画像を性的に加工する事案
 - ・オンライン上で賭博を行う事案
- 等が起っています。

このような中、保護者は、青少年の置かれている環境や青少年のライフサイクルを見通してその発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること（ペアレンタルコントロール）が求められます。

○フィルタリング等の利用

- ・フィルタリングを活用することにより、薬物などの違法な情報や出会い系・アダルト系のサイト等の閲覧制限や、対象年齢に合わないサービス・コンテンツの利用制限ができます。
- ・インターネットの利用では、次々と興味のある情報が表示されることで、中断できなくなってしまうケースがあります。
- ・OS事業者が提供するペアレンタルコントロール機能で閲覧できるWEBコンテンツや起動できるアプリについて、年齢に合わせた制限やサイト・アプリごとの個別の管理ができます。



○話し合いによる家庭内ルールづくり

青少年にスマートフォン等を持たせる場合は、低年齢のうちから、スマートフォン等の不適切な利用によるリスクについて家庭で話し合い、正しい生活習慣づくりやインターネットを正しく利用するための家庭内ルールを作ることが求められます。

【特に注意が必要です！】

○闇バイト

SNSやインターネットの掲示板には、仕事の内容を明らかにせず著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されています。

簡単に高収入を得られるなら、と応募して、強盗や詐欺といった犯罪に加担することとなり、逮捕された人が多くいます。

○オンラインゲーム

オンラインゲームは、ボイスチャットやメッセージを交換する機能が付いていて、匿名の相手とも簡単にやり取りができ、ゲーム内で協力することで生まれる仲間意識や、ゲームの上級者に対して子どもが抱く憧れの感情が悪用され、犯罪に巻き込まれるリスクがあります。

○生成AI

生成AIを使った性的な画像加工やSNS等での拡散がトラブルや犯罪、人権侵害につながるケースがあります。